

# とある1日のスケジュール

入庁1年目

佐藤光技師  
農林水産部 農産園芸課



学校なので  
業務開始が  
早いです

入庁1年目

中村瑞樹主事  
青森市立古川小学校



私服勤務OKですが  
いつもスーツで出勤

入庁3年目

加藤心技師  
農林水産部 水産局水産振興課



関係市町村との  
やり取りがメイン

入庁6年目

米内山愛望技師  
危機管理局 原子力安全対策課



申請書は来年度の事業計画を  
報告書は昨年度の事業の実績を  
まとめたもの

入庁6年目

坂本大河主事  
商工労働部 新産業創造課



入庁6年目

藤原拓也技師  
県土整備部 道路課



ちなみに  
お昼近くなると  
県庁生協が  
職場にお弁当を  
売りに来てくれる  
そうです。

- 8:00
- 8:30 業務開始  
メールチェック
- 9:00 事業に関する資料作成
- 10:00 セミナー開催に関する打合せ
- 11:00
- 12:00 昼休み
- 13:00 野菜関係の統計取りまとめ
- 14:00
- 15:00 青森県産の野菜を紹介する冊子
- 16:00 「あもりの野菜っこ」の原稿作成
- 17:00
- 20:00 業務終了・退勤



- 7:50 業務開始
- 8:00 メールチェック(10件くらい)
- 9:00 教育委員会に提出する書類の作成  
教育委員会からの書類提出の依頼に対応
- 10:00
- 11:00 社会人になってから学校給食って少しうやまいかも
- 12:00 昼休み(学校給食)
- 12:40 午後の業務開始
- 13:00
- 14:00 総務課に提出する予算の帳票を作成
- 15:00
- 16:00
- 16:20 業務終了

メチが近かったんでこの日は残業だったそうです。

- 8:00
- 8:30 業務開始  
メールチェック
- 9:00 漁獲データの整理
- 10:00 関係機関(漁業協同組合や関係市町村、平内町の生産総合研究所など)へ誤差数値の確認・漁獲データの誤差チェック
- 11:00 課内の広報希望とりまとめ
- 12:00 昼休み
- 13:00 漁獲データの月報作成
- 14:00 間違いないよう何度もチェック。情報量が多いので時間がかかるそうです。
- 15:00
- 16:00 放射性物質調査結果のとりまとめ・公表
- 17:00
- 17:15 業務終了

- 8:00
- 8:30 業務開始  
メールチェック(10件くらい)
- 9:00 交付金申請書・報告書の作成
- 10:00
- 11:00
- 12:00 昼休み
- 13:00 市町村から提出された報告書の審査
- 14:00
- 15:00 緊急時連絡網機器点検の立会い
- 16:00 業者と更新機器に関する打合せ
- 17:00
- 17:15 業務終了



- 8:00
- 8:30 業務開始  
メールチェック
- 9:00
- 10:00 企業訪問に出発
- 11:00 訪問先にて企業の取り組みや課題をヒアリング
- 12:00 昼休み
- 13:00 帰庁
- 14:00 セミナー講師とWEB打ち合わせ
- 15:00
- 16:00 セミナー開催内容について課長レク
- 16:30 翌日の会議資料作成・設置準備
- 17:00
- 17:15 業務終了



- 8:00 業務開始メールチェック(20~30件)
- 9:00 通行規制に関する資料作成→Twitterの文章、faxで報道機関に送る文書を作成・報道機関への投げ込みやHP更新対応
- 10:00 道路事業の予算要求用資料作成
- 11:00
- 12:00 昼休み
- 13:00 道路事業(無電柱化、踏切改良、道の駅)の課内打合せ
- 14:00
- 15:00 翌日の会議資料作成
- 16:00
- 17:00
- 17:15 業務終了



# 育児休業を活用した先輩の声



柳谷 健太 青森市出身 企画政策部 広報広聴課

## 子どもが初めて歩く姿を見られたことが一生の宝物

娘(第一子)が11ヶ月後半になる頃、3ヶ月間の育児休業を取得しました。ちょうど妻が育児休業から仕事に復帰する時期に合わせ、1、2ヶ月目は妻と一緒に娘と3人の時間を過ごしました。3ヶ月目には、妻は職場に復帰し、私一人で朝から娘と2人きりの生活を送りました。日中の遊び場探いや、毎日、離乳食と私たち親の食事の準備をして、家事・育児の大変さを自分自身の経験として得ることができました。

育児休業取得者向けのリーフレットを参考に「パパ・ママ育児プラス」制度を利用したので、安心して妻の職場復帰のサポートをすることもできました。私の場合、上司(男性)も育児休業を取得していたので抵抗なく取得することができました。おかげで、子どもが初めて歩く姿を見ることができ一生の宝物になったと思っています。

社会の風潮というよりも、自分自身の経験として育児に専念したかったので、いい経験になりました。実際に育児参加をすることで、自分ごととして捉えることができ、様々な課題に気づくようになり、視野も広がりました。

※「パパ・ママ育児プラス」夫婦がともに育児休業を取得する場合、子どもが1歳2ヶ月になるまでの期間、育児休業手当が支給される制度

平成27年度採用

行政

田中しずく 大町町出身 病院局 運営部

## 育児休業を取得し、家族との幸せな時間を満喫

令和4年2月頃、妊娠していることがわかりました。すぐに上司と所属部署の人事担当者に報告し、妊娠・出産後の働き方について相談しました。その結果、業務量や4月以降の異動先の職場環境を考慮していただくことができました。また、同じ職場に出産・育児経験者が多いため、出産や育児について相談しやすく、妊娠中でも働きやすい環境が整えられていました。妊娠週数が進むにつれて、体がだるくなり、吐き気や頭痛といった症状が出るようになりましたが、体調を整えながら、自分のペースで仕事を続けることができました。

現在は、育児に集中できる環境と家族との時間を作るために育児休業を取得しています。毎日変化する子どもの成長を間近で見ることができて、とても幸せです。産後の急激な身体の変化や育児疲れ、ストレス等から体調がすぐれないことも多かったのですが、自分の体を労るためにも取得して良かったと思います。けれども、収入の減少やキャリア形成について不安を感じることはあります。また、長期間の育児休業から復帰した時に、仕事と育児を両立できるのか心配になります。しかし、職場は育児を相談しやすい環境が整っており、時短勤務等の子育てをサポートする制度もあるので、それらを活用しながら働き続けていきたいと思っています。



平成31年度採用

行政

## 出産・子育てをサポートする制度

青森県では、仕事と家庭を両立し、安心して子育てができるように支援する制度を設けています。

制度	給与	内容・利用期間等
産前・産後休暇	有給	産前8週間(多胎妊娠は14週間)から産後8週間まで。
配偶者出産休暇	有給	3日以内。1日・半日又は1時間単位
育児参加休暇	有給	新たに生まれた子又は小学校就学前の子の養育5日以内。1日・半日又は1時間単位
育児休暇	有給	子が1歳6ヶ月に達するまで。1日2回各60分以内又は1日1回2時間以内
子の看護休暇	有給	子が義務教育を終了するまで。1年に5日(子が2人以上の場合は10日)以内

制度	給与	内容・利用期間等
育児休業	無休	子が3歳に達するまで ※子が1歳に達するまでは地方公務員共済組合から育児休業手当金が支給されます。
育児短時間勤務	減額	子が小学校就学の始期に達するまで。勤務時間を短縮
部分休業	減額	子が小学校就学の始期に達するまで。勤務時間の始め又は終わりに1日2時間以内

育児休業取得率(令和3年度)

女性

100%

男性

29.8%

男性の配偶者  
出産休暇等取得率(令和3年度)

※教育庁・警察本部・病院局を除く

87.7%

年々増えてきているそうです

## 青森県が求める人材

- ・公務に対する高い志を有し、チャレンジ精神と行動力のある人
- ・時代の変化に柔軟に対応し、自ら考え、判断し、課題解決に向け行動できる人
- ・県民の満足度の向上に強い意欲を持ち、チームワークをもって目標を達成できる人

## 働き方と人を育む仕組み

### 勤務条件と待遇

#### 勤務時間

8:30～17:15 (休憩時間 12:00～13:00)

※時差出勤や育児・介護を行う職員の早出遅出勤務制度があります。(交替制勤務等の職員を除きます。)

#### 週休日・休日

毎週土・日曜日、祝日、年末年始(勤務場所で異なる場合あり)

#### 休暇

年次休暇 ※繰越制度あり(1年に20日／採用1年目は15日)

夏季休暇、結婚休暇、ボランティア休暇、服忌休暇、生理休暇、介護休暇等  
(その他、出産・子育てをサポートする制度あり P13-14)

#### 初任給(令和5年4月採用の場合)

- 初任給見直しにより昨年比約5%アップしました。
- 職務・経歴により、右記金額と異なる場合があります。
- 昇給は原則毎年1回行われます。

	初任給
大学卒業程度	191,700円
高校卒業程度	158,900円

#### 各種手当

- ☑ 通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当等の諸手当が各要件に応じて支給されます。
- ☑ ボーナス(期末・勤勉手当)は、6月・12月の年2回支給されます。

#### 人事異動・昇任

知事部局では、採用直後は幅広い能力開発・自己の適性が発見できるよう、管理部門と事業部門、本庁と出先機関等、様々な職務に配属され、その後は、経験・適性・本人の意欲等を重視した人事異動が行われます。異動にあたっては、「自己申告制度」による年1回の異動希望調査や「庁内公募制度」、「庁内ベンチャー制度」も実施されています。また、採用されると、「主事」又は「技師」となり、その後の昇任は勤務成績等を考慮して行われます。



## 人材育成と研修制度

青森県では、職員の能力開発やキャリア形成を図るために、さまざまな研修制度や支援制度を設けています。

### 1. 新採用者研修

新たに採用された職員を対象に、前期(4～5月頃)と後期(9～10月頃)に各4日間程度、公務員としての心構えや青森県に関する基礎知識について研修を行います。

カリキュラム	前期	後期
	あおり力テスト、知事講話、青森県の現状と課題、青森県の歴史と文化、公務員倫理、文書事務、仕事の進め方、接遇等	地方財政の現状と課題、青森県の戦略的な取り組み、まるごとあおり講座、財務制度の基礎、法令の読み方、メンタルヘルス等

### 2. 基本研修(必修)

新採用職員から、中堅・ベテランの職員まで、各職位に必要な能力の向上・開発に重点を置いた必修研修を行います。職位に応じて、「新採用者研修」「主事・技師研修」「主査研修」「主査第2部研修」「主幹研修」「管理者入門研修」等があります。

### 3. 選択研修

職員の主体的な能力開発意欲に応じて受講できる研修です。

「ロジカルシンキング研修」「ワンペーパー資料作成術研修」「クレーム対応研修」「ロジカルプレゼンテーション研修」「タイムマネジメント研修」「女性職員のためのセルフマネジメント力向上研修」「ICT人材育成研修」等、様々な研修を用意しています。

### 4. 自己啓発の支援(通信教育講座)

通信教育専門機関のメニューの中から幅広く対象コースを設定し、職員の自己啓発を支援しています。指定する通信教育講座から申し込む「指定通信教育講座」に加え、職員が受講を申し込む前に申請し、承認が得られれば受講できる「特別通信教育講座」があり、いずれも受講料の一部が講座を修了した職員に助成金として支給されます。

### 5. トレーナー制度

新採用職員の不安や悩みを解決するため、トレーナーに選任された先輩職員が新採用職員の相談相手となり、職場での基本的なルールや日常業務の進め方について助言します。



## 自らチャレンジできる制度

### 庁内公募制度

職員の希望する業務への挑戦を後押しする制度です。あらかじめ提示された業務に応募する「業務の公募」と、職員自らが希望する業務を提示する「庁内しごとチャレンジ」があります。

### 庁内ベンチャー(提案者事業実施)制度

職員自らが事業を企画立案し、採択されると必要な予算と人員が用意され、提案職員が中心となって事業を実施できる制度です。これまでに40件を超える事業が実施され、柔軟かつ斬新なアイデアを持った若手職員のチャレンジが実現しています！

過去に採択された事業

令和4年度～5年度実施事業(令和3年度提案)

#### 神戸とつながり発展するビジネス交流推進事業

神戸市の企業とのビジネス交流の推進を図るため、企業のニーズを調査し、県内企業とのマッチングを支援するとともに、メディア等を活用した情報発信、交流イベント、ビジネス連携モデルの創出等を行う。

令和3年度～4年度実施事業(令和元年度提案)

#### 一歩前進！大人の運動習慣改善ムーブメント事業

健康で長生きな青森県の実現に向けて、生活習慣の中でも特に運動に着目し、楽しみながら参加できるキャンペーンやイベントを展開する。

## 専門研修プログラム さらにスキルアップ↑

### 県土整備部の例

県土整備部では、技術職員に対する独自の研修プログラムを用意しています。土木系学科等の卒業を問わず、土木系公務員として必要な技術力や課題解決力を身につけることが可能です。

#### 1. 県土整備部研修(階層別)

新採用職員研修	採用1年目	2日
次世代リーダー育成研修(中堅)	採用5年目以降	1.5日

#### 2. 必修研修

研修科目	対象	担当	日数
道路事業一般研修	採用5年以内職員 (新採用職員を含む)	初年度に必修 (担当業務のみ)	2日
河川事業一般研修			2日
港湾・空港事業一般研修			0.5日
都市計画一般研修		採用5年以内に 全て必修	2日
VE基礎研修			2日
土質研修			2日
建設材料試験研修	採用5年以内に 全て必修	2日	
一般構造物研修		2日	
災害復旧事業一般研修		1日	
各地域整備部における現場研修			適時

### 県土整備部キャリアNAVI

県土整備部では、土木系公務員を目指す方のキャリアイメージ支援を目的に、「県土整備部キャリアNAVI」を開発しています。



### 3. 選択研修

研修種別	研修科目	日数
基礎及び一般研修	積算システム・CAD操作研修	2日
	各事業一般研修* 必修研修と同一(4科目)	2日
実務者研修	積算・CADスキルアップ研修	2日
	道路計画研修	3日
	災害実務者研修	2日
	環境色彩セミナー	2日
	体験型土木構造物実習	1日
橋梁アセットマネジメント・スキルアップ研修	橋梁設計研修	3日
	橋梁補修設計研修	3日
	橋梁定期点検研修	2日
	橋梁補修施工管理研修	2日
	橋梁耐震設計研修	2日
官民合同技術講習会	土木基礎技術講習会	2日
	コンクリート基礎技術講習会	2日
	構造物設計基礎技術講習会	2日
	アスファルト舗装基礎技術講習会	2日
	ICT,UAV基礎技術講習会	2日

# 新採用職員の本音

青森県職員になってよかったと思えますか？

「そう思う」「まあそう思う」

89%

## Q1 青森県職員になってよかったと思えますか？

- 転勤があるため、さまざまな地域で生活し、その地域の良さを知ることができる。
- 採用年度の初めから実務に携わることができ、経験値が蓄積されていると実感している。
- 福利厚生が充実している。

## Q2 今の仕事にやりがいを感じていますか？

- 県民の生活に不可欠な仕事であるため、やりがいを感じる。
- 地味だが重要な仕事だと感じる。
- 仕事に向けて勉強したことや、自分が職務の中で経験したことをそのまま仕事に活かすことができ、自分の成長を実感できる。
- 法に基づき審査・指導を行うため、民間企業等にはできない。
- 県民と接する機会や感謝の言葉をもらう機会がある。

## Q3 上司・同僚に相談しやすい環境だと思いますか？

- とても相談しやすい環境で、いつも丁寧に対応していただいている。
- トレーナーを始め、職場の先輩方が常に自分のことを気に掛けてくれているのを感じている。
- 話をよく聞いてくれる。必ずしも全肯定ではなく信頼できる。
- 県職員は冷静で寛容な人が多い。

## Q5 県職員になって、イメージと違っていたことはありますか？

- 仕事が思っていた以上に多岐にわたっている。
- 予想以上に休暇制度が充実していた。
- 年が近い先輩が多く、職務環境が良い。
- 異動の際に家庭の都合を考慮してくれる。
- 想像以上に職員が楽しそうに仕事をしているし、職員同士の連携や助け合いがある。
- 思ったよりも県民と直接関わる機会が多い。

## Q6 仕事をする上で心がけていることはありますか？

- 笑顔でコミュニケーションをとる。
- 県民に見える姿を意識している。
- 根拠をもって仕事に取り組む。
- 休めるときに休む。業務は早めに片付ける。頑張りすぎない。
- 県全体として目指している方向を意識しながら、将来の青森県や県民のためにどのように貢献できるのか。
- わからないことは早めに周囲に聞く。
- 話す内容を確認してから、メールを送る際に一度読み直してから、など心がけている。
- 報連相を徹底している。
- どんな業務でも自分の出せる力を出し切る。
- 未来の自分を助けるためと思って、とにかくメモをとる。
- 朝から元氣よくあいさつをする。
- 迷ったら忙しい道を選ぶ。
- 常に学ぶ姿勢を忘れずに業務にあたる。

## 受験する方へのメッセージ

- 青森県庁は、仕事の幅が非常に広いため、自分の活躍できる場所が必ずあると思います！
- 青森県のために何かしたい、自分の活躍できるところで仕事をしたいという思いがある方はぜひ！
- 私は入庁前までは青森県職員になることをゴールとして考えていた節がありました。いざ入庁してみると、まざりもなく社会人としてのスタートを切ったと実感するような経験ばかりです。社会人としての未熟さを思い知ったり、自身の成長を感じたりで忙しいです。まずは入庁を目指して全力で受験してください。
- 民間企業からの転職組ですが、とにかく働きやすいです。転職組も多くなります！
- インターンシップ等で県の仕事を体験してから入職すると、ギャップがなく働けると思います。